

シンポジウム

■日時：11月27日（金）18：30～20：30

■配信：ライブ2

シンポジウム1 （臨C・社S）

U=Uをめぐる陽性者とHIV予防対策と医療者のあり方について

座長

井上洋士（順天堂大学大学院 医療看護学研究科）
大北全俊（東北大学大学院 医学系研究科）

■演者

SY1-1

U=Uを陽性者に伝える、社会に伝えることについて

白阪琢磨

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS
先端医療開発センター

SY1-2

医師は感染リスク「ゼロ」といえるべきか

照屋勝治

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY1-3

HIV感染者に対する不妊治療

久慈直昭

東京医科大学 産科婦人科学

SY1-4

MSM予防対策を担う立場からU=Uについて

金子典代

名古屋市立大学 看護学研究科国際保健看護学

SY1-5

私たちHIV陽性者にとってU=Uとは？

高久陽介

NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム2 （社S）

COVID-19対策においてHIV対策の経験から学べること

座長

井上洋士（順天堂大学大学院 医療看護学研究科）

■演者

SY2-1

イントロダクション

井上洋士

順天堂大学大学院 医療看護学研究科

SY2-2

ツインパンデミック時代の傾向と対策

宮田一雄

ジャーナリスト

SY2-3

HIV感染対策から学ぶCOVID-19対策

岩室紳也

ヘルスプロモーション推進センター

SY2-4

HIVコミュニティからの「新型コロナウイルス感染症に対する要望書」アクションの紹介

岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

SY2-5

COVID-19流行下で見えてきたこと一不確かさ、不安と向き合う

土屋菜歩

やまと在宅診療所登米／国立大学法人東北大学 個別化予防・疫学分野

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム3 (臨C)

抗HIV薬の安全使用と
Drug Information (DI)

座長

菊池 嘉 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター)
井門敬子 (愛媛大学医学部附属病院 薬剤部)

■演者

SY3-1 添付文書・インタビューフォーム改訂
の実際と臨床現場での利活用

富田隆志
広島大学病院 薬剤部

SY3-4 抗HIV薬の安全対策と薬剤情報

込山則行
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 医薬品安全対策第二部

SY3-2 医療現場におけるRMP利活用と安全
使用推進

林 昌洋
国家公務員共済組合連合会虎の門病院 薬剤部・治験臨床研究部

SY3-5 HIVとともに生きる皆さんに必要な
HIV感染症治療薬を届けるために不可欠な一製薬会社としての使命

古賀一郎
ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカル・アフェアーズ部門

SY3-3 RealWorldDataの利活用と今後

高田敦史
九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム4 (臨C)

Drug-Drug Interactions

オーガナイザー

増田純一 (国立国際医療研究センター病院 薬剤部)

座長

青木孝弘 (国立国際医療研究センター・エイズ治療・研究開発センター)
矢倉裕輝 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤部)

■演者

SY4-1 薬物相互作用の統合的予測

樋坂章博
千葉大学大学院薬学研究院 臨床薬理学

SY4-3 HIV診療における薬物相互作用

渡邊 大
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター・エイズ先端医療研究部

SY4-2 医薬品開発での薬物相互作用情報の利用：規制当局の視点から

木島慎一
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 次世代評価手法推進部/新薬審査第四部

シンポジウム

■日時：11月28日（土）17：00～19：00

■配信：ライブ1

シンポジウム5 （臨C）

症例から学ぶHIV感染症診療の
コツ

オーガナイザー

座長 栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）
青木 眞（感染症コンサルタント）
山中 晃（新宿東口クリニック）

■演者・解説者

SY5-1 症例提示及び症例解説

村松 崇

東京医科大学 病院臨床検査医学科

SY5-2 症例提示及び症例解説

塚田訓久

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

■解説者

SY5-3 症例解説

増田純一

国立国際医療研究センター病院 薬剤部

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

★医療関係者限定セッションとなります。

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム6 （臨C・社S）

HIV感染症と薬物使用（依存）
の予防

座長 畝井浩子（広島大学病院 薬剤部）
矢嶋敬史郎（がん・感染症センター都立駒込病
院 感染症科）

■演者

SY6-1 The Current Status of Substance
Use and HIV Prevention in Taiwan

Wei, Han-Ting

Department of Psychiatry, Taipei City Hospital
Linsen Chinese Medicine and Kunming Branch and
Kunming Prevention and Control Center

SY6-3 学校薬剤師と病院薬剤師の連携による
性感染症の予防啓発に関する検討

石井聡一郎

広島大学病院 薬剤部

SY6-2 Understanding and supporting
drug users with HIV infection in
Japan

嶋根卓也

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依
存研究部

SY6-4 性感染症予防啓発を目指した薬剤師に
よる宮城県での活動報告と今後の展望

阿部憲介

国立病院機構仙台医療センター 薬剤部

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム7 (臨C)

進化を続ける抗HIV薬の「剤型」

座長

塚田訓久 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
矢倉裕輝 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤部)

■演者

SY7-1 30年前と今の薬の使い勝手の違い
～患者の立場から～

花井十伍

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

SY7-4 メディカルシェアハウスにおける高齢・終末期HIV感染者の服薬支援

村串恵子

有限会社安心の絆 メディカルシェアハウス (安心ハウス絆)

SY7-2 30年前と今の薬の使い勝手の違い
～医師の立場から～

岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY7-5 HIV感染患者の服薬アドヒアランス向上を目指した製剤開発の展望

並木徳之

静岡県立大学 薬学部

SY7-3 持効性注射剤の特徴
～精神疾患領域での使用経験から～

築地茉莉子

千葉大学医学部附属病院 薬剤部

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム8 (基B・臨C・社S)

HIV/AIDSに関連した医薬品の承認審査とその影響 —未来に向けた提言—

座長

潟永博之 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
栗原 健 (一般社団法人 日本病院薬剤師会)

■演者

SY8-1 HIV/AIDSに関連した医薬品の承認審査について
—医師の立場から—

白坂琢磨

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター

SY8-3 ドルテグラビルの欧米での迅速承認を目指した臨床開発
—企業の立場から—

藤原民雄

元塩野義製薬 (株) HIV Integrase Inhibitor Global Project Leader

SY8-2 HIV/AIDSに関連した医薬品の治験・承認審査がどう変わったか

森 和彦

日本製薬工業協会

SY8-4 HIV/AIDSに関連した医薬品の承認審査について
—患者の立場から—

花井十伍

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム9 (臨C)

HIV感染症と保険薬局薬剤師
～患者支援のための様々な工夫
と取り組み～

座長 戸矢崎信也 (株式会社カムシティ 戸山薬局)
小川和彦 (一般財団法人 緑風会 緑風会薬局)

■演者

SY9-1 当局における患者支援のための取り組みと病院との連携

小川和彦

一般財団法人 緑風会 緑風会薬局

SY9-3 HIV感染症と保険薬局薬剤師 ～患者支援のための様々な工夫と取り組み～

島田淳史

スエヤス調剤薬局 文京店

SY9-2 院外処方時に直面する課題

迫田直樹

法円坂薬局

SY9-4 抗HIV薬処方箋応需における保険薬局の役割

田橋美佳

薬樹薬局 三ツ沢

■日時：11月28日(土) 17:30～19:00

■配信：ライブ2

シンポジウム10 (基B)

HIV学術研究の今「ウイルスと
宿主とのせめぎ合いから」(複製
および病原性)

オーガナイザー

武内寛明 (東京医科歯科大学 医歯学総合研究科
ウイルス制御学)

座長 宮川 敬 (横浜市立大学 医学部 微生物学)
鈴 伸也 (熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研
究センター)

■演者

SY10-1 ゲノム編集技術とVif変異体を用いた
内在性APOBEC3ファミリータンパ
ク質の抗HIV-1活性の解析

池田輝政^{1,2,3}、檜原知里¹、

Carpenter Michael^{2,3}、Cheng Adam²、
Brown William²、Harris Reuben^{2,3}

¹熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 分子
ウイルス・遺伝学分野、²Department of Biochemistry,
Molecular Biology, and Biophysics, Institute for
Molecular Virology, Center for Genome Engineering,
Masonic Cancer Center, University of Minnesota、
³Howard Hughes Medical Institute, University of
Minnesota

SY10-3 ウイルスと宿主の進化的攻防：エイズ
ウイルス vs 人類

佐藤 佳¹、瓜生慧也¹、清水聡真²、小杉優介²、
小柳義夫²

¹東京大学医科学研究所、²京都大学ウイルス・再生医科学
研究所

SY10-4 ウイルスー宿主間相互作用に基づいた
HIV-1サル感染モデルの開発

齊藤 暁

宮崎大学 農学部 獣医学科 獣医微生物学研究室

SY10-2 ウイルスの宿主適応メカニズム：宿主
防御機構とのせめぎ合いと攻略能獲得
まで

芳田 剛、Yao Weitong、橋本紗希、
武内寛明、山岡昇司

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 ウイルス制御学
分野

シンポジウム

■日時：11月27日（金）17：10～18：40

■配信：ライブ1

シンポジウム 11 (基B)

HIV 機能的治癒に向けた取り組みの現状

座長

前田賢次 (国立国際医療研究センター研究所 難治性ウイルス感染症研究部)
佐藤賢文 (熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

■演者

SY11-1 【潜伏HIVリザーバー維持メカニズム】
感染細胞レベルからその要因を解く
～リザーバー特異的排除戦略による
HIV寛解をめざして～

武内寛明

東京医科歯科大学 歯学総合研究科 ウイルス制御学

SY11-2 サルエイズモデルにおける組織リザーバー解析

野村拓志

国立感染症研究所 エイズ研究センター

SY11-3 HIVリザーバーの除去または不活化を目指した新規治療法開発

藤田美歌子

熊本大学大学院生命科学研究部 サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座

SY11-4 SIV慢性感染期抗ウイルス薬治療下カニクイザルを用いた免疫学的マルチオミクス解析

山本拓也

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 免疫老化プロジェクト

■日時：11月27日（金）19：00～20：30

■配信：ライブ1

シンポジウム 12 (基B)

新しいARTに向けた創薬基礎研究の進展状況

座長

玉村啓和 (東京医科歯科大学 生体材料工学研究所)
吉村和久 (東京都健康安全研究センター)

■演者

SY12-1 HIVアクセサリータンパク質を標的とした新規治療法開発

岩谷靖雅

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

SY12-2 熊本大学有用天然物ライブラリーを活用したHIV潜伏感染細胞の再活性化

三隅将吾

熊本大学大学院 生命科学研究部附属 グローバル天然物科学研究センター 環境分子保健学分野

SY12-3 HIV感染症の根治に向けて：霊長類モデルの意義

鷺崎彩夏¹、明里宏文^{1,2}

¹京都大学 霊長類研究所、²京都大学 ウイルス・再生医学研究所

SY12-4 HIV侵入阻害剤の開発

原田恵嘉

国立感染症研究所 エイズ研究センター

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 13 (臨C・社S)	HIV 情報提供とヘルスリテラシー	座長	井上洋士 (順天堂大学大学院 医療看護学研究科) 戸ヶ里泰典 (放送大学)
-----------------------------	-------------------	----	--

■演者

SY13-1 ヘルスリテラシーの理論について

戸ヶ里泰典

放送大学

SY13-4 HIVセルフマネジメント支援とヘルスリテラシー

平山江美

東京女子医科大学病院 看護部

SY13-2 日本のHIV陽性者におけるヘルスリテラシーの現状

米倉佑貴

聖路加国際大学

SY13-5 HIV予防とヘルスリテラシー

塩野徳史

大阪青山大学 健康科学部看護学科

SY13-3 HIV陽性者のヘルスリテラシーと医師

塚田訓久

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY13-6 HIV陽性者のヘルスリテラシーをめぐる課題と向上策

高久陽介

NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 14 (社S)	Strategic communication with the public –性と健康に関する情報発信のあり方–	座長	田沼順子 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター) 高久陽介 (NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス)
--------------------------	--	----	---

■演者

SY14-1 London NHSのHIV検査キャンペーン

Paul Steinberg

Do It London (NHSの予防啓発キャンペーン)

SY14-3 ピルコンの活動について

染矢明日香

NPO法人ピルコン

SY14-2 PRIDE HOUSE 東京について

松中 権

PRIDE HOUSE 東京 / 特定非営利活動法人グッド・エイジング・エールズ

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 15 (社S)

薬害 HIV 感染被害者の長期療養課題を、医療福祉をつなぐ実践で解決する

オーガナイザー

座長 武田飛呂城 (社会福祉法人はばたき福祉事業団)
柿沼章子 (社会福祉法人はばたき福祉事業団)
田沼順子 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

■演者

SY15-1 薬害 HIV 被害者の現状

武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

SY15-2 薬害 HIV 被害者の医療面の課題

潟永博之

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY15-3 薬害 HIV 被害者の課題解決のための医療福祉連携 (CN の立場から)

大金美和

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY15-4 薬害 HIV 被害者の課題解決のための医療福祉連携 (MSW の立場から)

ソルダノあかね

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY15-5 血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者の肝移植に関する研究

江口 晋

長崎大学大学院 移植・消化器外科

SY15-6 薬害 HIV 被害者が肝移植を希望するまでの変化について

織田裕子

旭川医科大学病院

SY15-7 今後の薬害 HIV 被害者の長期療養の展望

柿沼章子

社会福祉法人はばたき福祉事業団

シンポジウム

■日時：11月27日（金）15：10～16：40

■配信：ライブ1／オンデマンド

シンポジウム 16 (社S)

薬害エイズ被害者遺族相談事業
当事者による遺族ケアの実践
—その可能性と不可能性

座長 花井十伍（特定非営利活動法人ネットワーク医療
と人権）
矢永由里子（西南学院大学）

■演者

SY16-1 薬害エイズ訴訟と遺族相談事業

花井十伍

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

SY16-2 “遺された人々”の悲嘆と回生

大西赤人

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

SY16-3 グリーフケア専門医からみた薬害エイズ遺族

村上典子

神戸赤十字病院 心療内科

SY16-4 私たちにとってのピアサポート

遺族相談員 四名

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

SY16-5 専門家相談員より：遺族相談員によるピアサポートについて

古谷野淳子

松浜病院

SY16-6 専門家相談員より：長期に相談事業に関わった経験について

矢永由里子

西南学院大学

※ライブ配信後、オンデマンド配信（学会会員限定）をいたします。

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 17 (社S)

HIV陽性者の生活の質（QOL）
は何か変わり何が変わっていないのか～調査研究成果から探求する～

座長 生島 嗣（ぶれいす東京）

■演者

SY17-1 HIV Futures Japanプロジェクトの3回にわたるウェブ調査結果から見たHIV陽性者のQOLの推移

井上洋士

順天堂大学大学院 医療看護学研究科

SY17-3 HIV陽性者のQOLに影響をおよぼすものとは ～国際陽性者調査より～

笹井明日香

ヴィーブヘルスケア株式会社 渉外・医療政策・患者支援

SY17-2 17年間の変化にみる全国HIV陽性者のQOL —「HIV陽性者の健康と生活に関する全国調査」の結果から

若林チヒロ

公立大学法人埼玉県立大学 健康開発学科 健康行動科学専攻

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 18 (臨C・社S)

日本におけるハームリダクション
的实践の可能性—HIV感染と
薬物使用についての学際的討議

座長 樽井正義 (びれいす東京)
徐 淑子 (新潟県立看護大学)

■演者

SY18-1 ハームリダクションとは：その基本概
念と諸外国におけるハームリダクショ
ンの展開 (シンポジウム趣旨説明)

徐 淑子¹、樽井正義²

¹新潟県立看護大学、²びれいす東京

SY18-4 依存症臨床からみたハームリダクショ
ンの意義

松本俊彦

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬
物依存研究部

SY18-2 行動・疫学調査からみる日本のHIV流
行と薬物使用

山口正純

武南病院

SY18-5 司法面からみたハームリダクシヨ
ン—
現行の法制度内で何が可能か

石塚伸一

龍谷大学 法学部

SY18-3 日本の薬物使用者の支援ニーズ—
Drug OK Talkの実践より

古藤吾郎

日本薬物政策アドボカシーネットワーク

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 19 (臨C) 認定講習会 (看護師)

HIV感染症看護の支援に役立て
る他領域看護の視点

座長 島田 恵 (東京都立大学大学院 人間健康科学研
究科 看護科学域)
大金美和 (国立研究開発法人国立国際医療研究セ
ンター エイズ治療・研究開発セン
ター)

■演者

SY19-1 退院支援看護師の立場から
～医療の中の生活視点を考える～

高橋由利子

国家公務員共済組合連合会九段坂病院 地域医療連携部

SY19-3 HIVコーディネーターナースの立場か
ら～困難事例への取り組み～

杉野祐子

国立国際医療研究センター病院

SY19-2 慢性心不全患者の経過を支えるには
—再入院させない外来での取り組み—

辻井由紀

地方独立行政法人たつの市民病院機構たつの市民病院
地域連携室

★本セッションは日本エイズ学会のHIV感染症看護師・HIV感染症指導看護師制度における学会教育
研修プログラムです。

シンポジウム

■日時：11月27日（金）13：25～14：55

■配信：ライブ1／オンデマンド

シンポジウム 20 （臨C）

HIV陽性者における肛門管癌の
早期発見と治療戦略

座長

重原一慶（金沢大学 医薬保健学総合研究科 泌尿器科）
井戸田一朗（しらかば診療所）

■演者

SY20-1 HIV陽性者における肛門管癌の早期発見と治療戦略

井戸田一朗¹、重原一慶²、大河戸光章³、
八重樫洋²、北村 浩^{4,5}

¹しらかば診療所、²金沢大学 医薬保健学総合研究科 泌尿器科、³杏林大学 保健学部臨床検査技術学科、⁴えんじゅ内科クリニック、⁵杏林大学 腫瘍内科

SY20-3 日本のMSMにおけるHPV感染及び異形成の実態

八重樫洋

金沢大学 医薬保健学総合研究科 泌尿器科

SY20-4 肛門管上皮内腫瘍（AIN）の早期発見と治療の経験

北村 浩

えんじゅ内科クリニック／杏林大学 腫瘍内科

SY20-2 HIV陽性MSMにおける肛門擦過細胞診とHuman papillomavirus検査

大河戸光章¹、岡山香里²、北村 浩^{3,5}、
井戸田一朗⁴

¹杏林大学 保健学部臨床検査技術学科、²群馬パース大学 保健科学部検査技術学科、³えんじゅ内科クリニック、⁴しらかば診療所、⁵杏林大学 腫瘍内科

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 21 （臨C・社S）

日本におけるPrEPの現状および
将来像（民間および地方での展開を中心に）

座長

生島 嗣（ぶれいす東京）
水島大輔（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

■演者

SY21-1 パーソナルヘルスクリニックにおけるPrEPの取り組みと将来的展望

塩尻大輔

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター／パーソナルヘルスクリニック

SY21-3 千葉大学におけるMSMコホートの取り組み

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院 感染症内科

SY21-2 東京都南新宿検査・相談室利用者のPrEP関係の相談状況

城所敏英

東京都南新宿検査・相談室

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 22 (臨C)

新規抗HIV薬をどのように使い分けるか

谷口俊文 (千葉大学医学部附属病院 感染症内科)

座長 内藤俊夫 (順天堂大学 医学部・大学院医学研究科 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院 総合診療科)

■演者

SY22-1 [3⇒3と3⇒2、それから2⇒]
~DTG/3TCによる2剤併用療法のポ
ジショニング

平井由児

東京医科大学八王子医療センター 感染症科

SY22-4 CAB/RPVなど注射製剤の将来的なポ
ジショニングについて

渡邊 大

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター・エイズ先端医療研究部

SY22-2 ドラビリンなどNNRTIのポジショ
ニングについて

村松 崇

東京医科大学病院 臨床検査医学科

SY22-5 3剤併用療法におけるインテグラーゼ
阻害薬の使い分け

照屋勝治

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY22-3 ダルナビルなどプロテアーゼ阻害薬の
ポジショニングについて

吉村幸浩

横浜国立大学市民病院 感染症内科

■日時：11月29日(日) 12:05~13:35

■配信：ライブ1

シンポジウム 23 (基B)

HIV学術研究の今「感染免疫学の視点から」(中和・非中和抗体の役割、細胞性免疫、CAR-Tの有効性等々)

オーガナイザー

武内寛明 (東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 ウイルス制御学)

俣野哲朗 (国立感染症研究所 エイズ研究センター)

座長 上野貴将 (熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

■演者

SY23-1 サルエイズモデルにおける抗原特異的
T細胞反応動態の解析と効果的なHIV
ワクチン開発への応用

石井 洋

国立感染症研究所 エイズ研究センター

SY23-3 ナイーブT細胞からの conserved/
プロテクティブエピトープ特異的CTL
の誘導

久世 望^{1,2}、赤星智寛²、滝口雅文^{1,2}

¹熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター、²熊本大学エイズ学研究センター

SY23-2 霊長類エイズモデルにおける抗CD20
抗体およびCAR-T細胞(キメラ抗原受
容体T細胞)を用いたB細胞枯渇療法
のエイズウイルス抑制効果

深澤嘉伯

Vaccine & Gene Therapy Institute, Oregon National Primate Research Center, Oregon Health & Science University

SY23-4 ウイルス免疫学 & 免疫ウイルス学

俣野哲朗

国立感染症研究所 エイズ研究センター

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 24 (臨 C)

COVID-19とHIV診療

オーガナイザー

潟永博之 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

■演者

SY24-1 市中病院におけるCOVID-19とHIV診療の両立について

立川夏夫

横浜市立市民病院 感染症内科

SY24-3 HIV感染症診療におけるCOVID-19感染症対策

増田純一

国立国際医療研究センター病院 薬剤部

SY24-2 新型コロナ重点医療機関の役割とHIV診療への影響

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院 感染症内科

SY24-4 新型コロナウイルス感染症流行下における抗HIV薬処方についての地方中核拠点病院の対応

井門敬子

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 25 (臨 C)

ウイルス感染における唾液を用いた検査の有用性の検討

座長

前田憲昭 (医療法人社団 皓歯会)
加藤真吾 (株式会社ハナ・メディテック)
森原 健 (一般社団法人 日本病院薬剤師会)

■演者

SY25-1 COVID-19診断における唾液検査

豊嶋崇徳

北海道大学 血液内科

SY25-3 抗HIV薬の唾液中薬剤濃度測定の臨床意義と実現可能性

山田瑛子

新潟大学歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野

SY25-2 口腔とウイルス

前田憲昭

医療法人社団 皓歯会

SY25-4 口腔細菌のウイルス感染症促進作用－HIV再活性化とCOVID-19に及ぼす影響を中心に－

今井健一

日本大学 歯学部 細菌学講座/生体防御医学研究所 生体防御部門

シンポジウム

■日時：11月28日（土）10：40～12：10

■配信：ライブ2

シンポジウム 26 (臨C)

HIV/AIDS 領域における企業の
情報提供活動の変遷と今後のあ
り方を考える

座長 加納光裕（鳥居薬品株式会社）
栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）

■演者

SY26-1

福西左知

元ヴィーブヘルスケア株式会社

SY26-3

今坂一道

ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカルアフェアーズ
部門

SY26-2

平原国博

ギリアド・サイエンシズ株式会社 HIV事業本部HIVマー
ケティング部

SY26-4

渡邊泰子

ギリアド・サイエンシズ株式会社 メディカルアフェア
ーズ統括部 HIV領域

■ディスカッション登壇者

瀧永博之（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

矢倉裕輝（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤部）

江野英夫（厚生労働省 医薬・生活衛生局 監視指導・麻薬対策課 監視指導室）

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 27 (基B)

開発中のHIV感染症治療薬とそ
の先

オーガナイザー

栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）

■演者

SY27-1

ViiV HealthcareのHIV感染症への取
り組み

Michael Aboud

Global Franchise Medical Head, ViiV Healthcare

SY27-3

Islatravir (ISL, MK-8591) the first
nucleoside reverse transcriptase
translocation inhibitor (NRTTI) in
development for the treatment
and prevention of HIV-1

Carey Hwang

Merck & Co., Inc., Kenilworth, New Jersey, United
States

SY27-2

Development of Lenacapavir, a
first-in-class long acting HIV
capsid inhibitor

Martin Rhee

Executive Director, Clinical Research, Gilead
Sciences Inc.

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 28
(社S)

どのようにしてHIV医療体制が
つくられたのか

オーガナイザー

座長 武田飛呂城 (社会福祉法人はばたき福祉事業団)
江浪武志 (厚生労働省 健康局 結核感染症課)
井上洋士 (順天堂大学大学院 医療看護学研究
科)

■演者

SY28-1 生きるための訴訟
—原告が求めた医療—

保田行雄

新大塚いずみ法律事務所

SY28-2 HIV医療体制のために、原告が求めた
ことと国が約束したこと

石谷 勉

石谷法律事務所

SY28-3 HIVコーディネーターナース制度の創
設と活用

石原美和

神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター

SY28-4 和解がもたらした、日本のHIV医療へ
の恩恵

岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セン
ター

SY28-5 身体障害者手帳がHIVに導入されるよ
うになった医療的・福祉的・社会的経
緯と意義

大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団